

【研究概要】

免疫チェックポイント阻害剤（ICI）は MSI-H/dMMR 大腸がんの高い奏効を示す一方で、治療抵抗性も課題となっている。近年、腸内細菌叢が ICI 効果に関与することが示唆されており、本研究では、ナノポアシーケンサーを用いて治療前便サンプルから腸内細菌叢および可動遺伝因子を同定・解析し、ICI 抵抗性の予測バイオマーカーを開発する。得られた知見は、個別化医療に基づく新たな治療戦略の構築に貢献すると期待される。